



第六十五号 平成二十六年五月一日(木) 発行

平成二十五年度総会行われる

一筆啓上・作左の会総会が、去る四月十二日(土)学区市民ホームで六十二名の出席者を迎えて開催されました。

役員改選では、会長の兵藤紀之氏が再選され、副会長には、法性寺一区近藤繁夫氏、会計には、赤渋五区鈴木富夫氏が承認されました。

り、思いやりの心を地域に定着させ、歴史や文化を地域の皆さんと一緒に継承、そして諸活動を盛り上げていきたいとあいさつされました。

本年度の主な活動としては、平成二十七年に開催される悠紀斉田一〇〇周年お田植えまつりに合わせて写真集「六ッ美西部ふるさと写真史」(仮称)の発刊、そして恒例になっている地域の人たちから、ふるさと六ッ美を詠む「俳句・短

歌」を募集する「ふるさと賞」の実施、新会員の積極的な入会活動、作左衛門をより知るための旅行を兼ねた「作左ゆかりの地の視察研修」など多くの事業内容が提案され、それぞれ承認されました。

来賓として岡崎市議会議員柵木誠様、JYAあいち三河農協井内支店長山本予司男様、六ッ美商工会会

長市川文勇様、本多家ご当主本多靖司様にご臨席頂き、柵木市議会議員様ならびに市川文勇商工会会長様より会の運営・活動に対してご祝辞を頂きました。引き続き第二部講話は、現在取組んでいる六ッ美西部写真史(仮名)の発刊(平成二十七年三月発刊

予定)の進捗状況を印刷された古い写真を見ながら横山茂写真史編集委員長の懐かしく有意義なお話を聞くことが出来ました。

第三部懇親会は蜂須賀長治さんの司会で和やかな雰囲気のもとで進められ、参加者同士の話が弾み、交流を深めることが出来ました。



挨拶される兵藤紀之会長

作左通信に関してご意見がありましたらご連絡ください。